

播磨造船所50年史 目次

口絵ページ

社章、本社および相生総合事務所写真、工場全景および平面図（昭和33年末）
社歌、旧役員、現役員写真（巻頭言）・・・取締役社長 六 岡 周 三

第1編 基礎確立期

第1章 創業時代

- 第1節 相生と造船業
- 第2節 播磨船渠株式会社
- 第3節 播磨船渠合名会社
- 第4節 播磨造船株式会社

第2章 鈴木商店時代

- 第1節 第1次世界大戦と造船業
- 第2節 鈴木商店の買収
- 第3節 工場の拡充
- 第4節 鋼材の入手状況
- 第5節 従業員と福利厚生施設
- 第6節 新船建造開始
- 第7節 船鉄交換
- 第8節 帝国汽船株式会社に合併
- 第9節 休戦後の状況
- 第10節 財界恐慌対策
- 第11節 鈴木商店の礎石的意義

第3章 神戸製鋼所時代

- 第1節 第1次世界大戦後の造船界
- 第2節 神戸製鋼所へ合併
- 第3節 関東大震災とその後の情勢
- 第4節 鈴木商店破綻後の情勢
- 第5節 苦節の神戸製鋼所時代

第4章 独立初期時代

- 第1節 海運造船助成施設
- 第2節 株式会社播磨造船所の設立
- 第3節 金解禁および経済恐慌後の情勢
- 第4節 軍事産業勃興後の状況

第2編 統制期

- 第1章 日華事変時代
 - 第1節 統制経済の進行
 - 第2節 機構の整備
 - 第3節 発明考案等の奨励
 - 第4節 工場設備および福利厚生施設の拡充
 - 第5節 従業員の増加
 - 第6節 日華事変中の業績

- 第2章 太平洋戦争時代
 - 第1節 太平洋戦争と造船業
 - 第2節 増産対策と設備の拡充
 - 第3節 資材関係および労務関係の対策
 - 第4節 増資と役員異動
 - 第5節 行政査察
 - 第6節 受賞その他
 - 第7節 空襲時代の状況
 - 第8節 業績
 - 第9節 終戦により中止した諸工事

- 第3章 松の浦工場、南方出張所および播磨工場
 - 第1節 松の浦工場
 - 第2節 南方出張所
 - 第3節 株式会社播磨工場

第3編 戦後発展期

- 第1章 戦後造船業の発展
 - 第1節 一般情勢の推移
 - 第2節 修繕船および続行船
 - 第3節 漁船その他
 - 第4節 計画造船および自己資金船
 - 第5節 輸出船

- 第2章 法令による指定
 - 第1節 制限会社の指定
 - 第2節 過度経済力集中排除法による指定
 - 第3節 特別経理会社の指定
 - 第4節 賠償工場の指定

- 第3章 資本、役員、機構
 - 第1節 資本金の変遷

- 第2節 株式の公開その他
- 第3節 社債の発行
- 第4節 資産の再評価
- 第5節 役員の異動
- 第6節 職制の変遷
- 第7節 事務所の変遷
- 第8節 広報活動

第4章 労務および厚生

- 第1節 労務
- 第2節 福利厚生

第5章 資材の調達

- 第1節 一般資材
- 第2節 鉄鋼材
- 第3節 倉庫の整備と倉庫品配達制度

第6章 技術の発展

- 第1節 技術の研究
- 第2節 特許、発明考案
- 第3節 研究設備

第7章 ディーゼル機関の製作

- 第1節 製作の推移
- 第2節 設備の合理化

第8章 企業の合理化

- 第1節 作業の合理化
- 第2節 事務の合理化
- 第3節 設備の合理化

第9章 新造船・修繕船・雑注工事

- 第1節 続行船
- 第2節 国内捕鯨船
- 第3節 小型漁船
- 第4節 計画造船
- 第5節 その他国内新造船
- 第6節 輸出船
- 第7節 修繕船
- 第8節 雑注工事

第10章 呉船渠

第1節 開設

第2節 業績

第3節 分離独立

第11章 創業50周年

第12章 関係会社

第1節 株式会社呉造船所

第2節 播磨建設株式会社

諸 表 (付 定款)

定款と重要事項の改正

社章等の変遷

役員在任期間一覧表

生産高表

製造実績

一般船舶建造隻数と総トン数図表

一般船舶修繕隻数と総トン数図表

艦艇建造隻数と排水トン数図表

艦艇修繕隻数と排水トン数図表

新造船建造実績図表(昭和21年~33年)

従業員数推移図表

資本金・売上高・利益金の推移

資本金推移図表

資本・資産の構成比率図表

流動・固定比率図表

総資本利益率図表

貸借対照表(昭和33年末)

損益計算書(昭和33年下期)利益金処分(昭和33年末)

株式分布図表

大株主

株価推移図表

工場概要

船渠・船台の推移図表

ディーゼル機関製造一覧表

ボイラー製造一覧表

年表

補 遺

工場平面図(昭和33年11月)、工場全景(昭和33年11月)

あとがき 以上